

吉田選手が銀メダル、小屋松選手が 6 位入賞 愛知・名古屋アジア大会 スポーツクライミング

摂南大学（学長：久保康之）スポーツクライミング部の吉田智音選手（国際学科 4 年）と小屋松恋選手（同 1 年）が第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）のスポーツクライミングに日本代表選手として出場し、男子リード種目で吉田選手が 2 位（高度 38+）、女子スピード種目で小屋松選手が 6 位（6 秒 81/女子日本新記録）に入賞しました。



銀メダルを獲得し、表彰台に立つ吉田選手（左端）

【2 選手の第 20 回アジア競技大会での記録と過去の主な戦績】

◆吉田智音選手

出場種目：男子リード

記 録：2 位／高度 38+

戦 績：IFSC リード世界ランキング 2025 1 位

IFSC 世界選手権ソウル 2025 リード種目 2 位

ワールドクライミングシリーズ 2026 リード第 5 戦 2 位

◆小屋松恋選手

出場種目：女子スピード

記 録：6 位／6 秒 81

※予選（6 秒 92）、準決勝（6 秒 81）ともに自身の日本記録を更新した。

戦 績：2026 年 2 月 第 6 回スピードユース日本選手権 女子 U-19 1 位（4 連覇）

2026 年 4 月 第 6 回アジアビーチゲームズで 6 秒 99 をマークして日本新記録

2026 年 7 月 世界ユース選手権で自身の日本記録を更新する 6 秒 94

【吉田選手コメント】

チームジャパンとして、日本人ワンツーフィニッシュに貢献出来たことには大変うれしく光栄に感じています。ただ、やはり勝ちきれなかった悔しさも大きいです。自分の苦手意識が強いパートで、対処しきれずに優勝を逃してしまったため、改めて自分の課題が浮き彫りになりました。ロス五輪の選考が来年に控える中、来たる本番を見据えて、更に気が引き締まる大会になったと捉えています。ワールドクライミングシリーズの最終戦も月末に控えているため、今シーズンを悔いなく終われるよう、更に調整を重ねて臨みたいと思います。



決勝で難所をこらえる吉田選手

【小屋松選手コメント】

今大会は自国開催ということもあり、たくさんの声援をいただき、楽しみながら競技に挑むことができました。

予選、準決勝と2度にわたって日本記録を更新することができ、これまでの練習の成果を感じることができました。強豪国がそろそろアジアで、決勝トーナメントの最終ラウンドに残ることはできませんでしたが、今回の経験を次の大会につなげ、次戦では表彰台に上られるよう頑張ります。



大会のたびにタイムを更新。成長著しい小屋松選手（写真は過去大会）

【本学のスポーツクライミング部】

2022年4月、日本代表コーチを務める中貝次郎氏をヘッドコーチに迎えて発足しました。寝屋川キャンパス内にあるリードウォール（高さ12.5m、全幅9.5m）とボルダーウォール（高さ5m、全幅25m）は、いずれも国際大会で使用できる規格を満たしています。吉田選手と小屋松選手をはじめとする2026年日本代表メンバーが6人在籍しています。

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 学生課（担当：山下、木下） TEL:072-839-9452

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報企画課（担当：石村、長谷川） TEL:06-6954-4026

Koho[at]josho.ac.jp

※メールアドレスの[at]は@に変換してください。